

右京区学生選挙サポーターの活動

活動場所：右京区 活動開始：平成23年12月～

右京区学生選挙サポーター



右京区選挙管理委員会

■ 地域が抱えていた課題

若者の政治への無関心は大きな社会問題となっており、各選挙における20代～30代の投票率は、他の世代に比べて極めて低い。

さらに、少子高齢化の進行により若者の人口率は年々低下している。若者が投票しなければ、若者の意見が反映されにくい社会になる。

■ 取組（連携）のきっかけ

平成23年11月に京都市右京区大学地域連携に関する協定が締結されたことを受け、右京区役所と大学との連携を目的として、当団体が結成された。

■ 具体的な連携の取組

区内の小学校等において「選挙出前授業」を実施し、将来選挙権を持つ子どもたちに早い時期から選挙に興味を持ってもらうことができた。この他、右京区民ふれあいフェスティバル、サンサDEクリスマスマーケット等、右京区内でのイベントにおいて選挙啓発を行っている。

このような活動を通じて、若者（特に大学生）の投票率・政治意識向上を目指している。

活動については、自らFacebookを通じて発信するとともに、市民しんぶんの右京区版でも取り上げられている。

■ 今後の活動

選挙出前授業をはじめとした、選挙啓発活動を引き続き実施し、活動を拡大していく。平成30年4月任期満了に伴う京都府知事選挙をはじめ、今後、さらに地域と連携し、投票率向上に向けた啓発の取組を考え、実施していく。

■ 成果

①大学・学生の視点

- 右京区内の小学校での出前授業、イベントへの出展等、右京区役所との連携により多くの啓発の機会を得ることができている。
- 小学校での出前授業では、子どもたちが選挙の話に興味を持って聞いてくれた。また、将来選挙権を持つ子どもたちに、早い時期から選挙に対する興味や関心を育てるサポートができたことを嬉しく思っている。
- 大学の授業では経験できない活動ばかりで、社会に出ていく上でも良い経験になっている。

②地域の視点

若者である大学生が選挙啓発活動をすることで、投票率の低い若者を対象とした選挙啓発をより効率的に行うことができる。大学の学園祭にも出展するなど、若者に対する選挙啓発の機会を多く得ている。また、活動する大学生自身も、政治や選挙への理解を深めるとともに、地域への関心を醸成し、まちづくりの担い手となっている。

活動写真



右京区民ふれあいフェスティバル



右京区民ふれあいフェスティバル



京都市鳴滝総合支援学校にて選挙出前授業

右京区学生選挙サポーターの活動



京都市・府議会議員一般選挙に向けた啓発



サンサDEクリスマスマーケット



長岡京市役所での他の選挙啓発団体と交流

